平成２４年９月２５日

第６学年保護者様

広島市立己斐小学校
校長　　中山　和一

「全国学力・学習状況調査」の結果について（お知らせ）

平成２４年４月１７日（火）に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。これは，文部科学省が調査対象として学校における小学校第６学年児童と中学校第３学年生徒を対象に行われた調査です。国語科と算数科、そして今年度から理科が加わり、その３教科における第５学年までの学習内容の定着状況調査を実施しました。また，あわせて，学習意欲・学習方法・生活習慣に関する平成２４年度意識調査も実施しました。

本年度の本校の通過率をお知らせします。この調査から本校の成果や課題を整理し，児童への教育指導や学習状況の改善に役立てたいと思います。また，各児童の学力や学習状況を把握し，児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげていきたいと思います。

1　国語Ａについて
通過率
平成２４年度　本校平均 82.2%

領域ごとの平均通過率

平均	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
82.2%	83.2%	63.2%	84.2%	85.3%

国語Ｂについて
通過率
平成 24 年度　本校平均　59.2%

領域ごとの平均通過率

平均	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
59.2%	64.8%	46.5%	61.5%	70.5%

○　国語Ａ（知識）の通過率は高く，これまで，次のような指導に取り組んだ成果ととらえています。
（1）漢字の読み書きの定着を図り語彙を増やすように取り組んでいる。
（2）相手や目的に応じて自分の考えを話すようにしている。
（3）必要な情報を得るために新聞記事を読む習慣が付きつつある。

○　国語Ｂ（活用）の通過率は，低くなっています。具体的に，次のことができていませんでした。
(1)「手紙の構成」において，後付けの書き方が理解できていない。
(2)「複数の記事を結びつけて自分の考えをもつ」において、条件に合わせて的確な文章が書けていない。

○　上記の課題を解決するために，本校では次のような取組をしていきます。
(1) お礼の手紙や依頼文など身近な生活場面において，正しい手紙の書き方を習得させる。また，敬語の適切な使い方を指導する。
(2)　新聞記事などを題材にして，内容を整理し書くための必要な事柄を要約させたり，メモを活用させたりして自分の考えを書く学習を取り入れる。

2 算数Ａについて
通過率　平均 73.4%(平成 24 年度)

領域ごとの平均通過率

平均	数と計算	量と測定	図形	数量関係
73.4%	74.1%	71.3%	75.1%	74%

算数Ｂについて
通過率 平均 61.2%(平成 24 年度)

領域ごとの平均通過率

平均	数と計算	量と測定	図形	数量関係
61.2%	56.8%	62%	64.2%	49%

○　算数Ａ（知識）算数Ｂともに通過率は低くなっています。
具体的には，次のことができていませんでした。
(1)「場面と図とを関連付けて，二つの数量の関係を理解しているかどうかをみる」問題において，基準にする大きさ，割合に当たる大きさ，割合を図と対応させて理解できていない。
(2)「三角形の底辺と高さの関係について理解しているかどうかみる」問題では，示された底辺に対応する高さを，図から読みとれていない。
(3) 必要な情報を用いて，その解答を導き出した理由を言葉や数を用いて記述できていない。
○　上記の課題を解決するために，本校では次のような取組をしていきます。
(１)数量関係が文章で与えられた場面で，文章から分かることを順序よく図に表す活動を取り入れる。
(2) いろいろな向きに置かれた三角形を示し，底辺の取り方によって高さが変わることを理解させる。
(3)日常生活において，様々な事象を算数の視点で振り返り，算数の用語を用いて表現させる活動を取り入れる。
さらに，
(4) 少人数指導により，日々の極め細かい指導や，理解できていない学習内容をすぐに把握して指導し定着させてく。

3　理科について
通過率
平成２４年度　本校平均 64.4%

領域ごとの平均通過率

平均	物質	ｴﾈﾙｷﾞｰ	生命	地球
64.4%	65.6%	64.2%	70.8%	53.9%

今年度初めて実施された理科の通過率は低くなっています。具体的には次のことができていませんでした。
(１)砂糖が水に溶けている様子など，目に見えないものについて，図や絵で考察することができていない。
(２)天気の様子と気温の変化についてデータをもとに分析して考察し，的確に記述できていない。
○　上記の課題を解決するために，本校では次のような取組をしていきます。
(１)観察や実験の場面において，予想や仮説，結果を図や絵・言葉などを用いて表現する活動を取り入れる。
(２)実際に空を観察しながら一日の雲の動きや気温の変化とを関連付けながら考察する活動をしていく。

◎３教科共通に今後一層力を入れていくことは，学習に興味・関心を持たせるため，発問の工夫やノート指導を行う。協同学習を取り入れ，自分の考えをまとめ，互いに意見交流をして深めていく活動をしていく。
それぞれの教科で習得した知識・技能が日常生活で活用できる力を付けていく。

3　生活習慣や学習環境等に関する意識調査について
(1)「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある」と答えた児童は 95%でした。難しいことでも挑戦していく意欲を育て，達成感をもたせ自信につなげていきます。
(2)「自分には，よいところがある」と答えた児童は 86%の結果でした。「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童は 93%でした。互いの違いや良さを知り，一人一人の個性を認め合い高め合う仲間作りに取り組みます。また中学校生活や将来の職業についても考えさせていきます。
(3)「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童は 97%でした。「学校生活で友達に会うのは楽しい」と答えた児童は 98%でした。いじめを許さない人権感覚を高め望ましい集団作りにいっそう取り組んでいきます。
(4)「朝食を毎日食べている」と答えた児童は 98%でした。また，「毎日，同じくらいの時刻に寝ている」と答えた児童 は 78%でした。「毎日，同じくらいの時刻に起きている」と答えた児童は 96%でした。このことから，家庭での生活リズムが安定している児童が多いことが分かります。学校では，毎月「生活リムカレンダー」を利用して，児童が自分で生活リズムに気を付けて生活できるように支援していきます。
(5)「学校の授業以外での 1 日あたりの勉強時間」が「60 分未満」と答えた児童は 39%でした。6 年生のめやすの時間である 60 分を達成するため，自主勉強等に積極的に取り組むように指導していきます。